

【研究会発表】

- 1) 平 周三, 林 孝文, 星名秀行, 新垣 晋, 石田均, 間島寧興. 口腔顎顔面領域におけるFDG-PET検査の臨床応用. 第34回新潟核医学懇話会, 2006. 4.22, 新潟, 第34回新潟核医学懇話会プログラム集, 2006
- 2) 勝良剛詞, 斎藤美紀子, 林 孝文. 根管治療と放射線骨壊死-時期と線量との関係-. 第47回日本歯科放射線学会総会・学術大会, 第20回放射線治療懇話会, 東京, 2006. 5.13.
- 3) 西山秀昌, 斎藤美紀子, 田中 礼, 林 孝文, 程 珺, 朔 敬. 口底部に発生したMyoepithelial carcinomaの1例-MRI画像所見を中心として-, 第54回新潟画像医学研究会, 新潟, 2006. 6.24.
- 4) 新国 農, 勝良剛詞, 林 孝文, 田中 礼, 平 周三, 西山秀昌, 小山純市, 斎藤美紀子. 大口蓋管の拡大像が認められた口蓋部の悪性リンパ腫の1症例. 第55回新潟画像医学研究会, 新潟, 2006.11.18.
- swallowing. J. Oral Biosci, 48: 278-285, 2006.
- 4) Hiroto T, Yoshihara A, Ogawa H, Ito K, Igarashi A, Miyazaki H: A preliminary study on the relationship between stimulated saliva and periodontal conditions in community-dwelling elderly people. Journal of Dentistry, 34: 692-698, 2006.
- 5) Okada A, Honma M, Nomura S, Yamada Y: Oral behavior from food intake until terminal swallow. Physiol Behav, 90(1): 172-9, 2006.
- 6) Kijima H, Shingai T, Takahashi Y, Kajii Y, Fukushima S, Taguchi Y, Noda T, Yamada Y: Nitric oxide modulates elicitation of reflex swallowing from the pharynx in rats. Am J Physiol Regul Integr Comp Physiol, 291: 651-6, 2006.
- 7) Yamamura K: Mastication-induced modulation of orofacial sensory inputs as seen in the jaw reflex and single neuronal activities in the primary face somatosensory cortex. Arch. Oral Biol, 52: 329-33, 2006.

【科研費等】

- 1) 研究代表者 平 周三. 口腔癌の転移リンパ節診断へのエラストグラフィーの応用. 科学研究費補助金(萌芽研究)110万円(2006年度), 2006年~2007年.
- 2) 研究代表者 林 孝文. 舌扁平上皮癌に対する超音波口腔内走査法の確立と診断基準の策定. 科学研究費補助金(基盤研究(C))240万円(2006年度), 2006年~2007年.
- 8) Hayashi Y, Kobayashi H, Yamada Y, Miyakawa O, Tujimoto K: Effects of Heat Treatment on Fatigue Strength of Occlusal Rests Cast with Ag-Pd-Cu-Au Alloy. Prosthodont Res Pract, 5: 195-202, 2006.
- 9) 山田好秋: 嚥下の神経生理学. 日摂食嚥下リハ会誌, 10: 3-11, 2006.

【その他】

平 周三, 林 孝文: 口腔顎顔面領域の腫瘍診断におけるFDG-PETについて. 新潟歯学会雑誌, 36: 47, 2006.

摂食・嚥下障害学分野

【論文】

- 1) Miyaoka Y, Haishima K, Takagi M, Haishima H, Asari J, Yamada Y: Influences of thermal and gustatory characteristics on sensory and motor aspects of swallowing. Dysphagia, 21: 38-48, 2006.
- 2) Yamada M, Koga Y, Okayasu I, Sanefuji K, Yamada Y, Oi K, Yoshida N: Influence of soft diet feeding on development of masticatory function. J Jpn Soc Stomatognath Funct, 12: 118-125, 2006.
- 3) Sugita K, Inoue M, Taniguchi H, Ootaki S, Igarashi A, Yamada Y.: Effects of food consistency on tongue pressure during swallowing. J. Oral Biosci, 48: 278-285, 2006.
- 4) Hiroto T, Yoshihara A, Ogawa H, Ito K, Igarashi A, Miyazaki H: A preliminary study on the relationship between stimulated saliva and periodontal conditions in community-dwelling elderly people. Journal of Dentistry, 34: 692-698, 2006.
- 5) Okada A, Honma M, Nomura S, Yamada Y: Oral behavior from food intake until terminal swallow. Physiol Behav, 90(1): 172-9, 2006.
- 6) Kijima H, Shingai T, Takahashi Y, Kajii Y, Fukushima S, Taguchi Y, Noda T, Yamada Y: Nitric oxide modulates elicitation of reflex swallowing from the pharynx in rats. Am J Physiol Regul Integr Comp Physiol, 291: 651-6, 2006.
- 7) Yamamura K: Mastication-induced modulation of orofacial sensory inputs as seen in the jaw reflex and single neuronal activities in the primary face somatosensory cortex. Arch. Oral Biol, 52: 329-33, 2006.
- 8) Hayashi Y, Kobayashi H, Yamada Y, Miyakawa O, Tujimoto K: Effects of Heat Treatment on Fatigue Strength of Occlusal Rests Cast with Ag-Pd-Cu-Au Alloy. Prosthodont Res Pract, 5: 195-202, 2006.
- 9) 山田好秋: 嚥下の神経生理学. 日摂食嚥下リハ会誌, 10: 3-11, 2006.
- 10) 齊藤米蔵, 平野秀利, 黒瀬雅之, 山田好秋: 電子式Goniometerを用いた頭部屈曲・回転運動時の関節可動域の解析と運動軌跡の観察. 顎機能誌, 13: 21-30, 2006.
- 11) 小野和宏, 大内章嗣, 魚島勝美, 林孝文, 西山秀昌, 安島久雄, 小林正治, 瀬尾憲司, 齋藤功, 程君, 山田好秋, 前田健康: 歯科医学教育へのPBLテュートリアリアル導入-新潟大学歯学部への試み-. 日歯教誌, 22: 58-71, 2006.
- 12) 新井映子, 山村千絵, 江川広子, 城斗志夫, 島田久寛, 山田好秋: クッキーの咀嚼・嚥下特性に与えるグルテン構成たんぱく質組成の影響. 日摂食嚥下リハ会誌, 10:142-151, 2006.
- 13) 高橋肇, 伊藤彰, 江川広子, 渡辺紀之, 井上誠, 新井映子, 山田好秋: 高齢者向け米菓の研究. 日本咀嚼学会雑誌, 16: 70-82, 2006.
- 14) 大久保義信, 平野秀利, 山田好秋: 電子式関節可動域計測装置の要介護度評価への応用. 新潟歯学会誌, 36: 17-24, 2006.
- 15) 鈴木昭, 河野正司, 野村修一, 伊藤加代子, 豊里

- 晃, 田巻元子, 八木稔, 葭原明弘, 大内章嗣: 介護認定申請者における要介護度別歯科疾患の実態および歯科の治療ニーズに関する研究, 新潟歯学会雑誌, 35: 209-214, 2006.
- 16) 伊藤加代子, 五十嵐敦子: 女性におけるドライマウスの治療に関する検討. 更年期と加齢のヘルスケア, 5: 51-55, 2006.
- 17) 五十嵐敦子, 加藤直子, 渡部守, 伊藤加代子, 竹石英之, 船山さおり, 野村修一, 宮崎秀夫: 414人の75歳高齢者における薬剤服用と血清亜鉛値の調査. 老年歯科医学, 21: 35-40, 2006.
- 18) 五十嵐敦子, 渡部守, 中野美智江, 伊藤加代子, 船山さおり, 人見康正, 山田好秋: 味覚障害患者(自発性異常味覚)の唾液の味について~味覚センサーによる検討. 日本味と匂学会誌, 13: 175-180, 2006.
- 19) 塚田徹, 佐藤幸子, 長谷川敬一: 当院のStroke Unitにおける作業療法. 作業療法, 26: 73-78, 2007.

【著書】

- 1) 井上誠: 震災への取り組み—新潟大学歯学部より—(新潟大学地域連携フードサイエンス・センター編). これからの非常食・災害食に求められるもの, 132-140頁, 光琳, 東京, 2006.
- 2) 井上誠: 6. 摂食・嚥下機能とその障害, 8. 嚥下障害に対する臨床的アプローチ(新潟大学大学院医歯学総合研究科ブックレット編集委員会編). ブックレット新潟大学「食べる」介護編, 32-37頁, 44-48頁, 新潟日報事業社, 新潟, 2006.
- 3) 大瀧祥子: 9. 「食べる」機能の発達障害児(者)の介護(新潟大学大学院医歯学総合研究科ブックレット編集委員会編). ブックレット新潟大学「食べる」介護編, 49-54頁, 新潟日報事業者, 新潟, 2006.
- 4) 伊藤加代子: 7. ドライマウス—唾液の重要性—(新潟大学大学院医歯学総合研究科ブックレット編集委員会編). ブックレット新潟大学「食べる」介護編, 38-43頁, 新潟日報事業社, 新潟, 2006.
- 5) 船山さおり: 10. 摂食嚥下障害の介護の実際—現場で思うこと—(新潟大学大学院医歯学総合研究科ブックレット編集委員会編). ブックレット新潟大学「食べる」介護編, 55-60頁, 新潟日報事業社, 新潟, 2006.
- 6) 井上誠: どうして食べ物を細かく粉砕して磨りつぶして飲み込めるのだろうか?, 異物が喉に入ってもすぐに吐き出せるのはなぜ?(森本俊文監修), 口腔の生理から?を解く. 各48-51頁, 84頁, デンタルダイヤモンド社, 2006.
- 7) 大瀧祥子: 小児の摂食・嚥下機能の仕組みを理解しよう—成人とどう違うのか—摂食・嚥下の神経機構と脳・神経系の発達, 食べるための運動機能(田角勝, 向井美恵編). 小児の摂食・嚥下リハビリテーション, 各18-22頁, 24-31頁, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2006.
- 8) 伊藤加代子: ドライマウス(天野恵子編). 女性外来診療マニュアル, 270-273頁, じほう, 2006.
- 9) 井上誠: 嚥下の基礎的知識—嚥下の神経機構—(日本顎口腔機能学会編). 摂食嚥下機能の検査法. 編集集中, 八木出版, 徳島, 2007.
- 10) 山村千絵: 言語聴覚士のための基礎知識(夏目長門編). 臨床歯科医学, 口腔外科学. 248-255頁, 医学書院, 東京, 2006.
- 11) 山田好秋: 口から食べるということは何ぞ大切なのか(藤島一郎, 藤谷順子編). ポケットガイド嚥下リハビリテーションと口腔ケア. 2-10頁, メジカルフレンド社, 東京, 2006.
- 12) 山田好秋: 咀嚼の本—噛んで食べることの大切さ—, 財団法人口腔保健協会, 東京, 2006.
- 13) 山田好秋: 口腔生理学概説—生体の仕組みと働き—, 学建書院, 東京, 2007.
- 14) 山村健介: ストレス食いはなぜ悪いのですか?, なぜ食べたくなるのですか?. 咀嚼の本—噛んで食べることの大切さ—. 106-107頁, 154-155頁, 財団法人口腔保健協会, 東京, 2006.

【商業誌】

- 1) 山田好秋: 口腔機能概論(咀嚼・嚥下). 食品加工技術, 26, 16-24頁, 2006.
- 2) 井上誠: 嚥下機能解明と摂食・嚥下障害補助食の開発に向けた生理学的・食品物性学的研究. ふーま, 91号, 20-23頁, 2006.
- 3) 野村修一, 大内章嗣, 豊里晃, 伊藤加代子, 田巻元子, 石上和男, 片山修, 河内博, 河野正司: 要介護者口腔ケア・歯科治療クリニカルパス(地域パス)の開発(上). 日本歯科評論, 66, 167-176頁, 2006.
- 4) 野村修一, 大内章嗣, 豊里晃, 伊藤加代子, 田巻元子, 石上和男, 片山修, 河内博, 河野正司: 要介護者口腔ケア・歯科治療クリニカルパス(地域パス)の開発(下). 日本歯科評論, 66, 159-168頁, 2006.
- 5) 伊藤加代子: お尋ねに答えて, 歯科保健だより. 新潟県歯科保健協会, 55号, 2006.
- 6) 伊藤加代子, 野村修一: Q&Aクリニカルパスの導入と運用. DENTAL DIAMOND, 31, 114-115頁, 2006.
- 7) 野村修一, 大内章嗣, 伊藤加代子: 要介護高齢者

の口腔機能を支える地域連携口腔ケア・クリニカルパス. クリニカルプラクティス, 26, 28 - 32 頁, 2006.

- 8) 谷口裕重, 井上 誠: ALSにおける摂食・嚥下障害の評価および対応法. 難病と在宅ケア, 2月号, 2007, 編集集中.

【研究成果報告書】

- 1) 山田好秋, 山村健介, 井上誠, 阿部伸一, 渡邊裕: 嚥下障害解明に向けた基礎的研究. 嚥下誘発における上位脳の役割 日本学術振興会科学研究費補助金研究, 基盤研究(A) 課題番号14207077, 2006.
- 2) 井上誠, 山村健介, 山田好秋: 咀嚼・嚥下機能に関わる脳幹内介在神経の局在とその機能的役割に関する研究. 文部科学省科学研究補助金研究, 基盤研究(C) 課題番号17591934, 2007年.

【講演・シンポジウム】

- 1) Yamamura K: Mastication-induced modulation of orofacial sensory inputs as seen in the jaw reflex and single neuronal responses in the primary face somatosensory cortex. International mastication symposium, Brisbane Australia, 2006.6.26-27.
- 2) Inoue M: Kinematographic and electromyographic studies to evaluate the swallowing function. 84th Annual Meeting of the Physiological Society of Japan, Osaka, 2007.3.20-22.
- 3) 井上誠: 摂食・嚥下機能とその障害 - 基礎と臨床 -. 科学技術知識普及事業講演会, 新潟, 2006.5.24.
- 4) 井上誠: 嚥下機能解明と摂食・嚥下障害補助食の開発に向けた生理学的・食品物性学的研究. FOOMA JAPAN 2006 アカデミックプラザ, 東京, 2006. 6. 9.
- 5) 山田好秋: 補綴歯科は嚥下障害にどう関わるか?. 日本補綴歯科学会 第115回学術大会, 札幌, 2006. 7. 8.

【学会発表】

- 1) Mostafeezur R, Yamamura K, Inoue M, Kurose M, Yamada Y: Modulation of the jaw-opening reflex during mastication in awake rabbits. International mastication symposium, Australia, 2006.6.26-27.
- 2) Tsurui C, Arai Y, Inoue M, Taniguchi H, Ootaki S, Yamada Y: Coordination of jaw and neck movements during rhythmic jaw movements. Mastication Symposium, Australia, 2006.6.26-27.
- 3) Yamamoto, S, Inoue M, Yamamura K, Yamada

Y: Changes in jaw opening reflex responses during mastication and swallowing. 84rd IADR, Australia, 2006.6.28-7.1.

- 4) Taniguchi H, Inoue M, Ootaki S, Yamamura K, Yamada Y: Effects of food consistency and body posture on oropharyngeal swallowing function. 84th IADR, Australia, 2006.6.28-7.1.
- 5) Hayashi T, Nakamura Y, Nakajima S, Kobayashi H, Yamada Y: Robotized jaw movement simulator JSN/2C aimed at simulating autonomous chewing movement. 5th World Congress of Biomechanics, Munich Germany, 2006.7.29-8.4.
- 6) Mostafeezur R, 山村健介, 井上誠, 黒瀬雅之, 山田好秋: Pattern of modulation of the jaw-opening reflex during mastication. 第83回日本生理学会大会, 前橋, 2006. 3.29, 第83回日本生理学会大会プログラム・予稿集: 166, 2006.
- 7) 敦井智賀子, 荒井良明, 井上誠, 谷口裕重, 山田好秋: 下顎運動時の頭頸部協調運動の筋電図学的検討. 日本顎口腔機能学会第36回学術大会, 鹿児島, 2006. 4.15, 日顎機能誌, 13: 40-41, 2006.
- 8) 谷口裕重, 井上誠, 山田好秋: 食品物性および姿勢が嚥下機能に与える影響. 平成18年度新潟歯学会総会, 新潟, 2006. 4.22, 新潟歯学会雑誌, 36: 112, 2006.
- 9) 山下庸, 井上誠, 大瀧祥子, 谷口裕重, 山田好秋: 介護食品の官能評価. 平成18年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2006. 7. 8, 新潟歯学会誌, 36: 114, 2006.
- 10) 勝良剛詞, 斎藤美紀子, 伊藤加代子, 船山さおり, 五十嵐敦子, 新国農, 田中礼, 平周三, 小山純市, 西山秀昌, 林孝文: 口腔乾燥症の超音波所見の特徴. 日本歯科放射線学会, 東京, 2006. 5.13, 歯科放射線, 46: 81, 2006.
- 11) 五十嵐敦子, 渡部守, 伊藤加代子, 船山さおり, 人見康正, 山田好秋: 味覚障害患者の臨床統計的観察, 第17回日本老年歯科医学会, 沖縄, 2006. 6. 1, 老年歯科医学, 21: 260, 2006.
- 12) 船山さおり, 伊藤加代子, 渡部守, 人見康正, 宮崎秀夫, 五十嵐敦子: 精神健康度と口腔乾燥に関する検討, 第17回日本老年歯科医学会, 沖縄, 2006. 6. 1日, 老年歯科医学, 21: 265, 2006.
- 13) 平野秀利, 山田好秋: 関節可動域計測記録システムの構築. 平成18年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2006. 7. 8, 新潟歯学会誌, 36: 294, 2006.
- 14) 井上誠, 大瀧祥子, 山下庸, 船山さおり, 谷口裕重, 柴田佐都子, 人見康正, 山田好秋: 新潟大学歯学総合病院摂食・嚥下リハビリテーション室開設

- と現況. 平成 18 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2006. 7. 8, 新潟歯学会雑誌, 36 : 296, 2006.
- 15) 谷口裕重, 大瀧祥子, 井上誠, 山田好秋 : 神経難病患者における嚥下時の食塊動態について. 平成 18 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2006. 7. 8, 新潟歯学会雑誌, 36 : 313, 2006.
 - 16) 黒瀬直子, 黒瀬雅之, 山村健介, 平野秀利, 井上誠, 山田好秋 : 自由行動下マウスを用いた咀嚼運動の解析. 平成 18 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2006. 7. 8, 新潟歯学会雑誌, 36 : 311, 2006.
 - 17) 島田久寛, 井上誠, 山田好秋 : 粉碎を伴わずに形成される疑似食塊物性と嚥下閾値の検討. 第 12 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会, 岡山, 2006. 9.8-9, 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会雑誌, 10 : 319, 2006.
 - 18) 渡邊裕, 河合毅師, 花上伸明, 山根源之, 阿部伸一, 山田好秋 : 視覚・聴覚刺激を用いた嚥下運動誘発に関する研究. 第 12 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会, 岡山, 2006. 9.8-9, 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会雑誌, 10 : 341, 2006.
 - 19) 谷口裕重, 大瀧祥子, 井上誠, 山田好秋 : 筋萎縮性側索硬化症における咽頭嚥下時の食塊の流れ. 第 12 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会, 岡山, 2006. 9.8-9, 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会雑誌, 10 : 365, 2006.
 - 20) 大瀧祥子, 谷口裕重, 井上誠, 小澤鉄太郎, 下畑享良, 西澤正豊, 山田好秋 : 多系統委縮症患者の摂食・嚥下機能障害の特徴—嚥下造影検査の解析から— : 第 12 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会, 岡山, 2006. 9.8-9, 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会雑誌, 10 : 448, 2006.
 - 21) 江川広子, 別府茂, 山田好秋 : 介護食の提供実態調査について - 新潟市の介護保険施設入所者の場合 -. 第 12 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会, 岡山, 2006. 9.8-9, 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会雑誌, 10 : 456, 2006.
 - 22) 金山隼人, 増田裕次, 加藤隆史, 新井嘉則, 山村健介, 栗原三郎, 山田好秋, 森本俊文 : 咬合挙上モルモットにおける咀嚼中の顎運動および咀嚼筋活動. 第 48 回 歯科基礎医学会学術大会ならびに総会, 横浜, 2006. 9.22, 第 48 回歯科基礎医学会学術大会並びに総会プログラム・予稿集 : 108, 2006.
 - 23) 黒瀬雅之, 山村健介, Mostafaezur R, 井上誠, 吉田教明, 前田健康, 山田好秋 : 自由行動下マウスを用いた咀嚼運動の解析. 第 48 回 歯科基礎医学会学術大会ならびに総会, 横浜, 2006. 9.22, 第 48 回歯科基礎医学会学術大会並びに総会プログラム・予稿集 : 135, 2006.
 - 24) 加藤隆史, 増田裕次, 金山隼人, 藤本正一郎, 磯貝文彦, 山田好秋, 森本俊文 : モルモットの睡眠中に発生した咬筋の活動様式. 第 48 回 歯科基礎医学会学術大会ならびに総会, 横浜, 2006. 9.22, 第 48 回歯科基礎医学会学術大会並びに総会プログラム・予稿集 : 188, 2006.
 - 25) 柴田佐都子, 大瀧祥子 : 多系統委縮症の口腔疾患の特徴. 第 23 回日本障害者歯科学会, 仙台, 2006.10.20-21, 日本障害者歯科学会誌, 27 : 390, 2006.
 - 26) 林頼雄, 小林博, 宮川修, 山田好秋, 辻本和雄 : 熱処理による金銀パラジウム合金鑄造咬合面レストの疲労強度の改善. 日本補綴歯科学会 関越支部 平成 18 年度総会ならびに学術大会, 新潟, 2006.10.21, 日本補綴歯科学会 関越支部 平成 18 年度総会ならびに学術大会プログラム・抄録集 : 8, 2006.
 - 27) 黒瀬雅之, 山村健介, Zakir H, 山田好秋 : 自由行動下マウスにおける咀嚼運動時の筋活動様式の検討. 第 17 回日本咀嚼学会学術大会, 横浜, 2006.10.28, 日咀嚼誌 16 : 125-126, 2006.
 - 28) 井上誠 : 高齢者・嚥下障害者に求められる食品の要件. 日本缶詰協会第 55 回技術大会, 新潟, 2006.11.9 - 10, 第 55 回技術大会プログラム : 10-11, 2006.
 - 29) 熊坂隆行, 山田好秋 : 動物とのふれあいによる心に問題を抱える患者の気分の変化. 平成 18 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2006.11.11, 平成 18 年新潟歯学会第 2 回例会プログラム : 29, 2006.
 - 30) 大久保義信, 平野秀利, 山田好秋 : 電子式関節可動域計測装置の要介護度評価への応用. 平成 18 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2006.11.11, 平成 18 年新潟歯学会第 2 回例会プログラム : 27, 2006.
 - 31) 井上誠, 大瀧祥子, 山下庸, 船山さおり, 谷口裕重, 柴田佐都子, 人見康正, 田巻元子, 山田好秋 : 新潟大学医歯学総合病院摂食・嚥下リハビリテーション室開設と現況 2. 平成 18 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2006.11.11, 新潟歯学会雑誌, 36 : 308, 2006.
 - 32) 高橋肇, 伊藤彰, 江川広子, 渡辺紀之, 井上誠, 新井映子, 山田好秋 : 高齢者向け米菓の研究. 平成 18 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2006.11.11, 新潟歯学会雑誌, 36 : 308, 2006.
 - 33) 林頼雄, 小林博, 宮川修, 山田好秋, 辻本和雄 : 金銀パラジウム合金鑄造レストの表面処理が疲労強度に与える影響. 平成 18 年度 日本補綴歯科学会 東関東支部総会・第 10 回学術大会, 埼玉, 2007. 2.25, 平成 18 年度 日本補綴歯科学会 東関東支部総会・第 10 回学術大会プログラム・抄録集 : 16, 2007.

【研究会発表】

- 1) 山田好秋:「咬合・咀嚼が創る健康長寿」「摂食・嚥下の制御機構」, 千里有床義歯臨床研究会, 大阪, 2006.5.27.
- 2) 山田好秋, 井上誠:嚥下機能解明と摂食・嚥下障害補助食の開発に向けた生理学的・食品物性学的研究. FOOMA JAPAN 2006 アカデミックプラザ, 東京, 2006.6.6 - 9.
- 3) 井上誠:嚥下障害の臨床. 北蒲原歯科医師会学術講演会, 新潟, 2006.10.21.
- 4) 伊藤加代子, 船山さおり, 人見康正, 五十嵐敦子, 勝良剛詞, 斎藤美紀子, 林孝文:新潟大学医歯学総合病院くちのかわき外来における口腔乾燥症へのアプローチ. 第1回IVR研究会, 福岡, 2006.10.28.
- 5) 井上誠:摂食・嚥下機能とその障害-画像診断を中心として-. 西新潟病院摂食機能向上プロジェクト, 新潟, 2006.11.15.
- 6) 黒瀬雅之, 山村健介, Mostafeezur R, Zakir H, 井上誠, 山田好秋:遺伝子改変マウスに応用可能な咀嚼運動様式の基礎データの収集. 第1回三叉神経領域の感覚-運動統合機構研究会, 松本, 2007. 1.29.
- 7) 松木貴彦, 伊藤加代子, 葭原明弘, 五十嵐敦子:女性における口腔の健康に関するアンケート調査その1~女性外来における結果~. 第3回性差医療・医学研究会, 東京, 2007. 2. 9.
- 8) 松木貴彦, 伊藤加代子, 鱒見進一:女性における口腔の健康に関するアンケート調査その2~第1回国際性差医学会議における結果~. 第3回性差医療・医学研究会, 東京, 2007. 2. 9.
- 8) 井上誠:いつまでも安全に、おいしく食べたい・食べる楽しみいつまでも-. 食と花の世界フォーラム企画展, 新潟産業センター, 2006.10.13-15.
- 9) 井上誠:嚥下障害の臨床. 「食べる」出版記念講演会, 新潟, 2006.10.18.
- 10) 大瀧祥子:発達期における摂食・嚥下機能障害の介護. 「食べる」出版記念講演会, 新潟, 2006.10.18.
- 11) 伊藤加代子:ドライマウス~唾液の重要性~. 「食べる」出版記念講演会, 新潟, 2006.10.18.
- 12) 山田好秋, 井上誠:嚥下障害に対する食品開発の可能性. アグリビジネス創出フェア, 東京, 2006.10.25 - 26.
- 13) 山田好秋:いつまでも健康でおいしく食べよう~摂食・嚥下障害への取り組み~:研究成果等普及啓発事業発表会(長寿科学総合研究), 2006.11. 4.
- 14) 山田好秋:新潟大学歯学部歯学祭企画「介護食品ってどんなもの?」, 2006.11.4 - 5.
- 15) 井上誠, 山下庸, 谷口裕重:摂食・嚥下の生理学と嚥下障害の臨床(講義), クリープメータを用いた食品物性の測定および透視記録を用いた摂食・嚥下機能の評価(実習). 平成18年度高度技術研修, 新潟大学歯学部, 2006.11.22.
- 16) 大瀧祥子, 人見康正:新潟市消費者団体懇談会:高齢者と食べる障害, 新潟市市民活動支援センター, 新潟, 2006.12.16.
- 17) 伊藤加代子:新潟市保健所:かむ・のみこむ・スマイルパワーアップセミナー, 南地域保健福祉センター, 豊栄地域保健福祉センター, 坂井輪地域保健福祉センター, 東地域保健福祉センター, 各2007.1.10, 2007.1.18, 2007.1.24, 2007.1.29.

【その他】

- 1) 井上誠:最近のトピックス 摂食・嚥下リハビリテーション室での取り組み. 新潟歯学会誌, 36: 39-40 頁, 2006.
- 2) 井上誠:新潟大学医歯学総合病院摂食・嚥下リハビリテーション室より. 新歯界, 12: 29-31, 2006.
- 3) 伊藤加代子:お尋ねに答えて, 歯科保健だより. 新潟県歯科保健協会, 55号, 2006.
- 4) 伊藤加代子:九州歯科大学千葉同窓会:口腔機能向上にむけて, 千葉, 18: 30 ~ 19: 30, 2006.5.20.
- 5) 伊藤加代子:新潟大学歯学部公開講座:介護予防のための口腔機能の向上入門講座, 新潟, 18: 30 ~ 19: 30, 2006.7.25.
- 6) 伊藤加代子:新潟市保健所:口腔機能向上従事者研修会:新潟, 13: 00 ~ 16: 00, 2006.8.28.
- 7) 井上誠:摂食・嚥下機能障害への取り組み -新潟大学医歯学総合病院からの提言-. にいがた産学技術交流フェア2006, 長岡, 2006.10. 4.
- 18) 山田好秋:嚥んで食べていきいき元気-咀嚼と咬合が創る健康長寿-嚥んで食べる体の仕組み. 日本歯科大学創立100周年記念市民健康公開フォーラム, 東京, 2006. 2. 2.
- 19) 伊藤加代子:新潟県歯科保健協会:口腔機能の向上を目指して, 介護予防従事者研修会:新潟市, 長岡, 2007.2.6. 2007.2.20.
- 20) 伊藤加代子:新潟県歯科医師会:QOLの向上を目指して~ドライマウス, 味覚障害を中心に~, 三条, 2007.2.22.
- 21) 伊藤加代子:新潟市保健所:口腔機能向上プログラムの実際, 新潟市, 2006.3.26.
- 22) 田巻元子:要介護者に対する専門的口腔ケアの介入頻度による効果. 新潟歯学会誌, 36:81-83, 2006.
- 23) 本間美和子:ヒトの自然な摂食嚥下動作の間に見られる食塊量と舌骨動態との関係. 新潟歯学会雑誌, 36: 97 - 99, 2006.